

○水生生物モニタリング調査結果一覧 (猪苗代湖(北岸) I・猪苗代湖(南岸) J)

<猪苗代湖(北岸)I・猪苗代湖(南岸)J 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
J-1	○	○	○	○	○	○

<猪苗代湖(北岸)I・猪苗代湖(南岸)J 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時		水質	底質				その他		
	緯度	経度	日	時刻(水)		時刻(泥)	水温(°C)	泥温(°C)	性状	色相	混入物	全水深(m)
J-1(表層)	37.4203°	140.1008°	R6.12.5	13:43	14:30	9.9	8.6	砂泥	7.5Y6/2	シジミ	3.8	>3.8
J-1(下層)												

<猪苗代湖(北岸)I・猪苗代湖(南岸)J 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分 (mg/L)	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
J-1(表層)	37.4203°	140.1008°	R6.12.5	13:43	6.9	<0.5	1.8	11.1	11.8	0.06	0.8	<1	0.5	N.D. (0.0014)	0.0042	—
J-1(下層)					7.0	<0.5	1.8	10.9	11.8	0.06	0.7	<1	0.5	N.D. (0.0016)	0.0038	0.0012

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<猪苗代湖(北岸)I・猪苗代湖(南岸)J 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{NHE} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成						Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)		
	緯度	経度	日	時刻							(2~75mm)	粗砂 (0.85~2mm)	中砂 (0.25~0.85mm)	細砂 (0.075~0.25mm)	シルト (0.005~0.075mm)	粘土 (0.005mm未満)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
J-1	37.4203°	140.1008°	R6.12.5	14:30	6.3	488	21.7	1.0	1.8	2.790	4.0	9.5	47.9	28.5	6.5	3.6	0.30	4.8	0.31	23	N.D. (0.20)

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<猪苗代湖(北岸)I・猪苗代湖(南岸)J 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	Sr-90 (Bq/kg-wet)
I-1 I-2 (北岸)	湖内 および 長瀬川	37.5047° 37.4995°	140.1143° 140.1409°	R6.12.1	脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	Carassius auratus	キンブナ	3	2.4	成魚	不明消化物	内臓除去	11	N.D. (1.3)	11	0.39
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	Salvelinus leucomaenis	イワナ	3	3.3	成魚	空胃	内臓除去	18	N.D. (1.1)	18	0.085
				脊椎動物	硬骨魚	ナマズ	ナマズ	ナマズ	Silurus asotus	ナマズ	3	1.1	成魚	空胃	内臓除去	6.0	N.D. (1.2)	6.0	—
		R6.12.4	粗粒状有機物	—	—	—	—	—	水底落葉等	プランクトン(浮遊藻類)	—	0.25	—	—	—	1.8	N.D. (0.27)	1.8	—
J-1 (南岸)	湖内 および 鬼沼周辺	37.4203°	140.1008°	R6.12.5	藻類・植物	—	—	—	—	プランクトン(浮遊藻類)	—	0.013	—	—	—	N.D.	N.D. (2.6)	N.D. (2.3)	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	ドジョウ	Misgurnus anguillicaudatus	ドジョウ	15	0.074	未成魚/成魚	—	—	4.4	N.D. (1.1)	4.4	—

※1: 生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2: 水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3: 複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4: 生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓(胃、腸)の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5: プランクトン(浮遊藻類)とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで漉した残留物を指す。

※6: 河床付着物(藻類を含む)とは、石に付着した藻類をブラシ等で搔き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7: N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8: 放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。